

ザンビア政治・経済月報(2015年4月)

主な出来事

【内政】

- ・14日、北部州センガヒル選挙区、コッパーベルト州マサイティ選挙区、ルサカ州チャワマ選挙区において国民議会補欠選挙が実施され、PFが全3議席を獲得。

【外政】

- ・3月26日から4月2日にかけて、ルング大統領等は中国を訪問。
- ・28日から30日にかけて、ルング大統領等はSADAC臨時首脳会合に出席するためジンバブエを訪問。

【経済】

- ・内閣は2015年鉱山税制見直しを承認し、ルング大統領は、関係閣僚に対して、20日の閣議までに同見直し案の詳細を提出するよう指示した。右は、チャンダ大統領府特別補佐官(広報担当)が昨日発表した声明内で述べられた。
- ・ザンビア政府高官は、内閣による鉱山使用税の引き下げ決定後に、バリク・ゴールド社が、同社所有のルムワナ鉱山の操業停止を撤回した旨発言した。
- ・バンダ・ザンビア電力公社(ZESCO)マーケティング広報部長は、27日夜に、キトウェ変電所及びビルアノ変電所の故障によって国内8州(ルサカ州、コッパーベルト州、北西部州、北部州、東部州、ムチンガ州、中央部州、ルアプラ州)で停電が発生した旨発言した。同部長は、昨日発表されたステートメントにおいて、両発電所の故障によってZESCOの送電網に対して極度に高い電圧がかかった結果、カリバ・ノースバンク発電所及びカフエ・ゴージ発電所の発電機の電源が自動的に切れた旨発言した。

* PF: 愛国戦線(与党), MMD: 複数政党制民主主義運動(第1野党), UPND: 国家開発統一党(第2野党)

* タイムズ、デイリーメールは国営。ポスト、デイリーネーションは民営。

【内政】

- ・1日、汚職対策委員会はシニヤングウェ南部州次官を汚職容疑で逮捕。(2日、タイムズ、メール、ネーション)
- ・14日、北部州センガヒル選挙区、コッパーベルト州マサイティ選挙区、ルサカ州チャワマ選挙区において国民議会補欠選挙が実施され、PFが全3議席を獲得。(15日、タイムズ、メール、ネーション)
- ・14日、ルング大統領はチュル裁判官を選挙管理委員長候補に指名。(15日、タイムズ、メール、

ネーション)

- ・24日、最高裁は、東部州ペタウケ中央選挙区、東部州マランボ選挙区、西部州ムロベジ選挙区において議席を確保していた前国民議会議員が当該3選挙区の補欠選挙に立候補できる旨の判決を下した。(25日、タイムズ、メール、ネーション)
- ・28日、カウンダ初代大統領は91歳の誕生日を迎えた。(28日、タイムズ、メール、ネーション)

【外政】

- ・3月26日から4月2日にかけて、ルング大統領等は中国を訪問。(3日、タイムズ、メール等)
- ・17日、カラバ外務大臣はロシアを訪問。(18日、タイムズ)
- ・28日から30日にかけて、ルング大統領等はSADAC臨時首脳会合に出席するためジンバブエを訪問。(29日、タイムズ、メール等)

【経済】

- ・ザンビア開発庁(ZDA)は、投資家に対し、輸出機会の拡大を手助けするよう、銅の最終製品への投資を求めた。ザンビアで産出されている銅の90%以上が未加工の状態で輸出されている。(3日、タイムズ)
- ・ズル鉱山エネルギー水開発副大臣は、ザンビア政府が、電力セクターの成長促進を目的とした再生可能エネルギーの固定価格買取制度にかかる政策の策定中である旨発言した。(9日、メール)
- ・内閣は2015年鉱山税制見直しを承認し、ルング大統領は、関係閣僚に対して、20日の閣議までに同見直し案の詳細を提出するよう指示した。右は、チャンダ大統領府特別補佐官(広報担当)が昨日発表した声明内で述べられた。(14日、タイムズ、メール、ポスト)
- ・ザンビアの調査会社であるクカ・コンサルティングは、非鉱業セクターの成長によって、2015年第1四半期のザンビアの経済成長率は1.25%となり、2014年同時期の成長率1.5%からわずかに減少した旨明らかにした。(15日、メール)
- ・チクワンダ財務大臣は、ザンビア経済は改善しているものの、商品価格の低下によって国際収支及び同国の財政状況に問題が生じている旨発言した。同大臣は、IMF・世銀春期会合(於:ワシントン DC)にて、同会合はザンビアにとって良い対話の場であることを述べおいた上で、同会合は成功裏に終わった旨発言した。(20日、ルサカタイムズ)
- ・ザンビア電力公社(ZESCO)は、カリバ湖の水位低下を受け、近隣国からの電力の輸入を検討している旨明らかにした。バンダ ZESCO マーケティング広報部長は、同公社の送配電能力が現在制約されている旨発言した。昨週、ザンビア河川庁(ZRA)は、2014/2015年の雨季のザンベジ川流域の雨量不足をうけ、カリバダム発電量を2015年の計画量から10%減少した旨発表した。(22日、ネーション)
- ・ザンビア政府高官は、内閣による鉱山使用税の引き下げ決定後に、バリク・ゴールド社が、同社所有のルムワナ鉱山の操業停止を撤回した旨発言した。(23日、ロイター)

- ・ルムワナ鉱山は、ザンビア政府の 2015 年鉱山税制見直しの動きを受け、4000 人の労働者を解雇する決定を撤回した。マルペンガ北西部州次官は、右決定の撤回は、22 日にマクネビン・ルムワナ鉱山ゼネラルマネージャーによって同次官のオフィスに伝えられた旨発言した。同次官は、北西部州の住民が、ザンビア政府による鉱山税制の見直しを歓迎している旨発言した。(23日, ザンビア国営放送)
- ・バンダ・ザンビア電力公社(ZESCO)マーケティング広報部長は、27 日夜に、キトウェ変電所及びルアノ変電所の故障によって国内 8 州(ルサカ州, コッパーベルト州, 北西部州, 北部州, 東部州, ムチンガ州, 中央部州, ルアプラ州)で停電が発生した旨発言した。同部長は、昨日発表されたステートメントにおいて、両発電所の故障によってZESCOの送電網に対して極度に高い電圧がかかった結果、カリバ・ノースバンク発電所及びカフエ・ゴージ発電所の発電機の電源が自動的に切れた旨発言した。(29日, タイムズ, メール, ポスト)